



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しるくま



長野県立こども病院

ニュースレター

No.92
令和6年.1.16発行



長野県立こども病院だより第92号 発行日：令和6年1月16日 発行者：中村友彦
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<https://nagano-child.jp/> ☐ kodomo-info@pref-nagano-hosp.jp



Contents

新年のご挨拶	1
オプションスクリーニング検査	
ー1年の節目を迎えてー	2
この人に聞く	4
ちるくま合唱団 団長	8
私のオススメBEST5	9
保育士だより	10
栄養科通信	10
こころにお届けする本	11
病院ボランティアさんのご紹介	11
サポーターズボード	12
小さな星の会のお知らせ	12
キョウノイチマイ・編集後記	13



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達とその家族のために、質が高く、安全な医療を行います。

撮影：大畑淳

新年のご挨拶



病院長 中村 友彦



新年あけましておめでとうございます。

県内の多くの医療関係者ならびに御支援者の皆様のおかげで、長野県立こども病院が30周年を迎えることができましたこと深く感謝いたします。

1980年代まで長野県内では小児の高度専門医療に対応できないため、県外に通院・入院する小児患者が少なからずいました。長野県医師会、小児患者団体からの要望もあり、長野県立こども病院は1993年5月28日に病床数60床、診療科9科、医師数27名、看護師数98名、薬剤師4名、医療技術者19名、事務職他12名、総職員数160名で開院しました。2000年の産科開設に伴い長野県総合周産期母子医療センターに指定され、名実ともに長野県の小児・周産期医療の「最後の砦」となりました。2023年4月1日時点では病床数200床、診療科26科、医師数112名、看護師・助産師・保健師数331名、薬剤師19名、医療技術者56名、事務職他116名、総職員数634名となりました。

1980年代には非常に高かった長野県の乳児死亡率（出生数千人当たりの1歳未満に死亡する乳児数）、新生児死亡率（出生数千人当たりの1か月未満に死亡する新生児数）は、こども病院の開院とともに劇的に低下して全国最低レベルとなりました。開院当時年間約600人と1,300人だっ

た新規入院・外来患者数は、現在それぞれ年間4,000人前後となり、その内の約5%が県外からの患者です。

小児・周産期医療の人材育成は、こども病院の重要な役割です。2018年9月に信州大学と連携大学院教育に関する協定を締結し、2023年3月に第1期生4名（医師3名、検査技師1名）が大学院を卒業して医学博士を取得しました。2022年7月には韓国・ソウル大学、ソウル小児病院と国際交流協定を締結して各職種が交流をおこなっています。2022年8月からフィンランド・トゥルク大学での新生児看護師研修プログラムの履修も開始しています。また、院外研修制度を利用して小児科医2名が米国・フィラデルフィア小児病院とフィンランド・トゥルク大学に留学しており、帰国後の当院での活躍が期待されます。

今後の10年を見据えて2019年から「病院将来構想」を検討してきました。院内での議論、長野県小児科医会へのアンケート、患者と家族と語り合う会を経て

- ・高度専門医療
- ・家族と共に築く医療
- ・医療的ケア児・移行期医療

を三本柱として「命を救うから命を育む」医療をおこなっていきます。

今後も皆様からの変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。

2024年1月吉日

オプショナルスクリーニング検査 -1年の節目を迎えて-

臨床検査科 山崎 香織

2022年10月からこども病院で始まったオプショナルスクリーニング検査をご存じでしょうか？あまり聞き馴染みのない方もいらっしゃると思います。どんな病気を調べるのか、病気が見つかったらどうするのか、この1年の取り組みを紹介していきます。

～オプショナルスクリーニング検査とは？～

オプショナルスクリーニング検査は新生児マススクリーニングに追加できる検査となっています。こども病院では2013年から長野県で生まれた赤ちゃんを対象に新生児マススクリーニングと呼ばれる生まれつきの代謝異常を調べる検査を行ってきました。赤ちゃんの少しの血液で25疾患についてその可能性がないか調べています。それらの病気は早くに治療をすることで重症化を防いで予後を改善できることが知られています。こども病院の中でこのスクリーニング検査を行っていることで、院内の専門医と素早くきめ細やかな連携ができ、赤ちゃんのより良い健康に役立ってきました。

そして現在、新しい検査法や治療薬が作られてきたことで、これまで対象としていた病気のほかにも、早期治療でその後の生活を大きく改善できる病気が出てきました。そういった病気も検査の対象にしていこう！と、信州大学の小児科と長野県立こども病院が協力してオプショナルスクリーニング検査を開始しました。新生児マススクリーニングで採血した血液を利用して、原発性免疫不全症（PID）と脊髄性筋萎縮症（SMA）の2つの遺伝子疾患を追加し

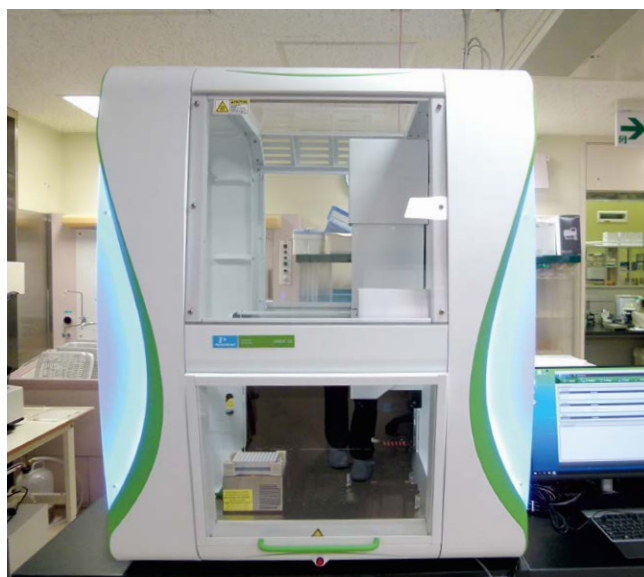
て検査することができます。ご両親の希望により実施する自費の検査となっていますが9割近くの方が検査を希望され、この1年の間に行ったスクリーニング検査によって、これらの病気の可能性のある赤ちゃんに適切な医療を受けていただくことができました。

～原発性免疫不全症：PIDについて～

人は細菌やウイルスなどの病原体から体を守るための免疫を持っています。PIDはこの免疫の仕組みのどこかに生まれつき何らかの問題があり、感染症にかかりやすくなる病気の総称です。原因や症状は様々ですが、その中でも免疫で大きな役割を持つT細胞やB細胞と呼ばれる細胞を持たない場合は、命にかかわるような重い感染症にかかった



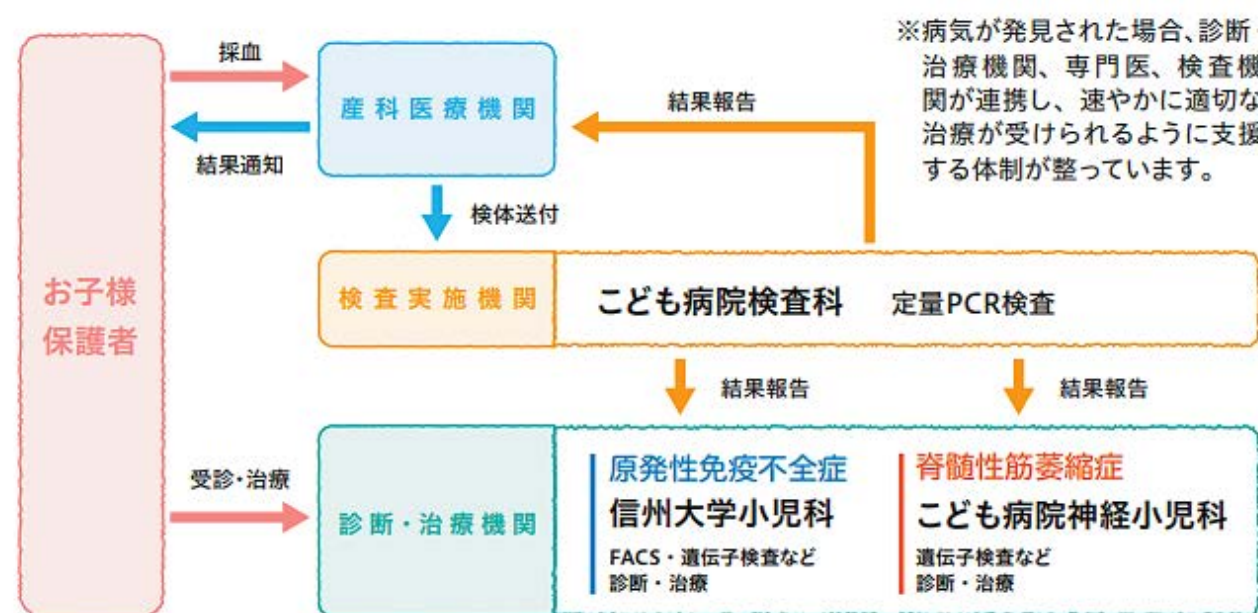
検査の様子



DNA 抽出に使用する機械



PCR 検査の機械



病気が見つかった場合の体制

り、ワクチン接種で重症となる可能性があるため、早期発見・早期治療が必要です。

～脊髄性筋萎縮症：SMAについて～

SMAは筋力を保つために必要なタンパクを作りだす遺伝子をもたない、もしくは機能しないことで少しずつ筋力の低下が起こる病気です。人は体を動かすときにはもちろん呼吸や食べ物を飲み込むときにも筋力が必要です。乳児期に発症する場合は重症度が高く、治療を行わないと生命維持ができなくなります。近年、SMAを治療するための画期的なお薬が開発されましたが、生後できるだけ早い時期から治療することが必要といわれています。

～検査で病気の可能性があったときの対応～

検査はPCR法で行われます。コロナ流行で聞いたことがある方も多いかもしれませんが、DNAの一部を増やしその増幅量をみることができ技術であり、本来あるはずの遺伝子をもたない場合はPCR法で増やされないため病気の可能性があります。

こども病院で検査を行って病気が疑われたときには、PIDの場合は信州大学医学部附属病院へ、SMAの場合はこども病院の神経小児科へ報告され、すぐにそれぞれの病気を専門とする医師から、採血した病院やご両親へ連絡がいきます。そして、病気の診断や最適な治療を行っていきます。

～オプション検査で見つかった患者さん～

2023年11月7日に、この検査で脊髄性筋萎縮症と判明した赤ちゃんが「日齢13」という早さで治療を開始す

ることができ、元気に退院されたことについてのプレスリリースが行われました。この患者さんは生後7日目に検査をし、その日のうちに病気の可能性があると判断されました。こども病院へ入院となり診断と治療の準備が行われ、生後13日には治療を始めることができました。この患者さんに合わせた治療計画で治療薬の投与が行われ、現在は退院されています。時間の経過とともに筋力が下がっていくこの病気は、どれだけ早く治療を始められたかということが重要になります。このケースはとても理想的であり、順調に治療が行われ退院されたことをうれしく思います。

～最後に～

オプションスクリーニング検査は全国的に広がっています。これまで発症前には見つけれなかった病気を早期に発見し、適切な医療を受けていただける手段が確立されました。長野県では、県下すべての産科施設や信州大学をはじめとした多くの医療機関との連携により治療までの仕組みも確立されています。産科施設の厚いご理解とご協力のもと、長野県の検査実施率は約90%と全国でも高水準を維持しています。しかし、残り10%の赤ちゃんは早期診断の機会を逃していることになります。検査は強制ではありませんが、診断や治療が難しく、早期治療が大切な病気のため、すべての赤ちゃんに新生児期に受けていただくことをお勧めしています。現在、検査の対象となる病気や治療薬は増えつつあります。こども病院では、このような医療の進歩による恩恵を多くの方に受けていただき、病気になる前の検査から病気の診断・治療までを含めて、こども達のより良い健康に貢献していきたいと考えています。

第52回 「この人に聞く」 診療部 内分泌代謝科 長崎 啓祐 先生



今回は、2023年10月より内分泌代謝科に赴任されました長崎啓祐先生にお話を伺いました。開口一番、「10月からの赴任で、今回のニュースレターのインタビューは早いなあ〜と思っていたんですよ…ハハハ」素敵な笑顔でインタビューを始めることができました。

編) こども病院に来るまでの先生の経歴に関して教えてください。

長) 松本で生まれました。父が豊科で母が松本なので、生まれたのはこちらですが、1歳から埼玉に行ったので、ここでの記憶はほぼないです。高校まで埼玉にいて、新潟大学の医学部に入って、いろんなところに行きつつこちらに来たという感じです。

編) 長野こどもを選んで来ていただいた理由を教えてください。

長) 自分の出身地域にあるこども病院だという事と、昨年の10月頃にたまたまこども病院の新生児関連の講演会でお話する機会がありまして、廣間先生と話をさせていただきました。当時、こども病院には内分泌代謝科がなかったのですが、私も自分のキャリアを活かせるところがないかなとずっと考えていたので、こども病院にそういう科ができれば来たいと思ってると言ったんですね。そしたら中村院長に話をさせていただいて、院長と面談をして、自分の今までの事や希望をお伝えして、こちらでお世話になることになった次第です。現在は内分泌代謝科としては竹内

先生と二人でやっています。こども病院の役割として、重症な方が集まってくるので、その中にすでに内分泌の患者さんもすでに何人かいらっしゃって、とてもやりがいを感じています。

編) 内分泌代謝科を専門にした理由を教えてください。

長) 当時研修医制度はなくて、最初から小児科に入りました。5-6年小児科一般をやってから小児科専門医をとって、その後に何を専門にするか選ぶのですが、ちょうど研修中に、糖尿病の方を診ることが多くて、糖尿病キャンプとか新潟ではあって、そこに毎年参加するようになって、内分泌の先生たちとはコンタクトはあったんですね。2000年に国立小児病院（現国立成育医療研究センター）で勉強する機会をいただいて、内分泌の領域に足を踏み込んで、新潟に帰ってからずっとやっていたという感じです。

編) 難しい分野かなと思います。

長) 稀な疾患がとても多いので、やはり経験が必要かなと思いますし、一般的な肥満とか思春期の異常、低身長などありますが、多くは何万人に一人とか何十万人に一人とかの病気を診る機会が多かったので、それは長年の蓄積で経験できたかなと思います。

編) 分かりました。では医師を目指されたきっかけを教えてください。

長) もともと小児喘息があって、小児科の先生にはお世話になっていたのを強く覚えていて、小学校の卒業文集にも将来の夢“医師”とか書いてありました。高校の時に自分が何になりたいかを見つめ直して、やっぱり小児科医にな



大学時代の水泳部の写真 2列目左の金色の帽子



新潟大学医学部大運動会



2007.11 in コペンハーゲン



2012.11 in パリ



2013 in ボストン
Massachusetts General Hospital

りたいなと思いました。研修医の時も、具合の悪い子どもたちを見るのはつらかったですが、小児科医になることの迷いはなかったですね。子どもや親御さんと向き合ったり、子どものために自分の時間を使えることは小児科医ならではのと思います。

編) つらいときに頼りにしている、心の支えなどはありませんか？

長) やっぱり家族ですね。家内がとても助けになっています。特別な支えというよりは、日常の生活を整えてくれて、サポートしてくれているという事がすごくよく分かるので、ありがたいです。新潟での生活を全部引き払って、こちらに一緒に来ています。

編) 学生の時に打ち込んだものがあれば教えてください。

長) 高校・大学と水泳部でした。喘息だったので子どもの頃にスイミングをやっていた関係で、高校で水泳部に入っ



2013 in ヴェネチア

てそのまま大学でも続けました。全学部の学生と一緒にやっていたので、5時半から朝練もあったり激しい部活でしたね。大会はメドレーリレーにバタフライで出て周りの人が速かったので、表彰されました。個人でも一応3位に



2015.10 in バルセロナ
バルセロナ大聖堂



2016.9 in パリ エッフェル塔



2018.9 in アテネ ヘロデ劇場



2019.9 in ウィーン
シュテファン大聖堂

入ったことはありますが、医学部の大会なので、レベルの高いものではないんですね。社会人になってからもジムは行って、週に1～2回は続けていました。こっちでもいいスイミングがあればぜひ教えてほしいです。

編) 本日何か写真も持ってきていただいたんですね。

長) 今日持ってきた写真は、うちの医学部がかなりの体育会系で医学部の中で「医学部運動会」と言って、病院内の各科対抗で運動会をするんです。こんなことやるのは新潟大学だけじゃないかなと思うのですが。こういう運動会は職員と仲良くなるきっかけにもなりますね。種目も長距離から短距離から様々で、パン食いやムカデ競争などもありましたね。私がこの運動会の係を10年くらいやってたんですよ。各科で点数を争いますが、小児科が1回だけ1位を取りました。大体は3位くらいが多かったかな。

他には、私が海外の学会に参加したときの写真です。もちろん発表がメインではあるんですが、ESPE（欧州小児内分泌学会）というヨーロッパの学会に主に行っていて、その良いところは毎年開催地が変わるんです。それにほぼ毎年参加してきました。APPEs（アジア・オセアニア小児内分泌学会）で表彰された時の講演の写真もあります。その他、内分泌関連の学会で表彰された時の写真です。専門分野で患者さんに還元していくことはもちろんのこと、若手医師の育成にこのような経験は役立つと思っています。

今年の8月に、新潟での最後の仕事として日本マスクリーニング学会を新潟で主催しました。学会を自分で主催したのが初めてで、新生児マスクリーニングをメインにやっている学会です。

編) 海外の学会での楽しみは特に何かありますか？

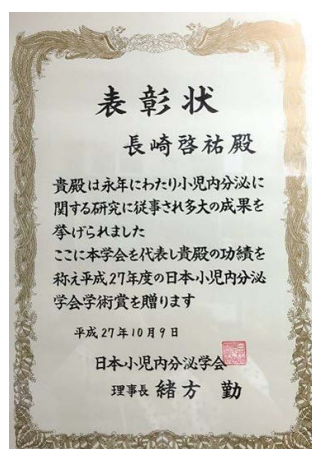
長) 海外の異文化に触れるだけでめちゃくちゃ楽しいです。海外の学会で特に衝撃を受けたのは、ヨーロッパは人口が少なく、一つ一つの国が小さいので、何か国が一緒になって多施設共同研究をやったりしているんですよね。日本もっとアジアを含めて幅広くやる方が研究としては価値が高くなるなというのを学会に行ってすごく実感しました。まあそんな経験もあり、多施設共同の臨床研究を6・7年前に立ち上げて、何年かやってきたものもあります。

編) 特に良かった国はどこでしたか？

長) 食べ物が美味しかったのは、スペインのバルセロナですね。「バル」という軽く飲んで、つまんでみたいところがいっぱいあって。向こうは、本格的な食事の前にバルで軽く飲んで食べて家に帰ったりするみたいなんです。うちらはお酒も飲めるし、その軽い食事だけでも満足でした。あとはチェコも中世のヨーロッパという感じで、建物とか雰囲気があって良かったですね。音楽とか好きだったらウィーンもとても良くて、国際的に有名な会場で演奏も聴いてきました。

編) 学会以外で海外旅行などは行くのですか？

長) 学生の時から、バックパッカーもちょっとやったりしていて、東南アジアは1ヶ月くらいずっと行ったりしていましたね。今だと怖いからもちろんやらないですけどね。1日数百円で過ごしたり、安宿探して泊まったり…学生の時は怖さ知らずというのはありましたが、いい経験にはなりましたね。タイのバンコクを拠点にして、安いチケットを売っている場所があるので、この日程で、この値段だっ



2015 年小児内分泌学会学術賞



▲ 2017 年小児内分泌学会 内分泌学普及奨励賞



2016 年 日本甲状腺学会での研究賞受賞▶



第 50 回マススクリーニング学会での会頭挨拶



第 50 回 日本マススクリーニング学会ポスター



学会会場から撮影した万代橋

たら行ってみようという感じでした。昔はネットもない時代で、本が頼りで、地球の歩き方を見ながら旅しましたね。海外の研究会に参加した時に、パスポートを盗まれて大使館に行ったり、危ない目にはいっぱい遭いましたが…まあそんなことも後になればいい思い出です。

編) 今先生が楽しんでやっている趣味があれば教えてください。

長) そうですね…犬ですね。ミニチュアダックスフンドのちょっと小さい子がいるんですけど、名前は“テール”といいます。遊んだり、毎朝散歩したりして私の運動不足解消に付き合ってくれています。環境が変わったことで最初は少し情緒不安定になりましたが、今は少し落ち着きましたね。一緒に寝たりもしますし、今の最高の癒しですね。

編) 最後に何か一言あればお願いします。

長) 新潟では、内分泌代謝・遺伝グループのチーフとし

て、内分泌代謝疾患のほか、遺伝医療にも関わっていました。私の一番の使命は、内分泌代謝科を発展させて、全国から内分泌代謝を勉強したいという若手のフェローが集まる科にしたいという事。また新生児マススクリーニングの体制をしっかりと作って、新しい取り組みをしていきたいですし、今回生命科学センター長という役職をいただいたので、大学での20年間の研究経験をこども病院の臨床研究の活性化に還元する、そんな役割もあると思っています。

編) 長崎先生本当によろこび長野のこども病院へ来てくださいました。優しく落ち着いた話し方と雰囲気、スタッフもお母さんもこれから沢山助けられると思います。プールで泳げる日が早く来る事を祈っています…ありがとうございます。

(山崎さとみ、山崎香織、藤沢南季)



テール

ちるくま合唱団のご紹介

第1病棟看護助手 音楽療法士 浅川 仁美

音楽療法と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。ピンとこない方も多いと思います。私も元々あまりクラシックや合奏曲、オペラの類は何を言っているのか解らないし堅苦しいと思い、J-POPやロックを聴いている一般的な子どもでした。

しかしウィーンフィルハーモニー管弦楽団の金管アンサンブルコンサートを生で聞いた事により、考えがガラッと変わりました。

初めて眠らずに最後まで聞けた！！

だけでなく、その時真冬だったにも関わらず身体の血流が手足の末端まで行き届き、物凄くポカポカして高揚したのが不思議で色々と調べました。

音楽にはリラクゼーション効果や、演奏することによるストレス発散効果があるのは皆さん耳にした事があると思うのですが、他にも効果があります。私が音楽療法で一番面白いと思い勉強しているのは、タンパク質の生成異常を正常な生成へ導くという効果です。人間の脳は電波によって身体に色々な指示を出していますが、この時音波も出しています。例えば脳が「良質なタンパク質を作って」という電波を間違えて「悪質なタンパク質を作って」と送ってしまったときに、「良質なタンパク質を作って」という電波を送る時に発生する音波と似ている音を出せば、身体はその音に反応して良質なタンパク質を作り出すという理論です。野菜や家畜に音楽を聞かせると美味しくなる、とい



団長の浅川です

うのはこの考え方からきているようで、上記した私の体験もこれに該当するそうです。

これを応用して子どもたちの発育や発達、気分転換など音楽でなにかお手伝い出来るのではないかな。そんな事を考えていた時に大森先生から「病院祭で合唱をしよう」とお声がけいただき、これだ！と思いました。

一団員として協力できることがあればという気持ちでいたのですが「命～電池が切れるまでを是非歌いたい。作曲者の古原先生をお呼びして指導と指揮を」というお話を聞き驚きました。実はこの「命～電池が切れるまで」は当時古原先生が勤めていた高校に私が入学する1か月前に初演されており、在学中も折に触れて何度も合唱していました。高校でお世話になった先生と20年後にお会いして「命～電池が切れるまで」をまた歌う機会をいただけるとは思わず、歌の持つ力と人を繋ぐ縁に感謝すると共に、これからも歌っていききたいという思いが湧いてきました。

12月は病院職員の親睦会で「命～電池が切れるまで」とクリスマスメドレーを、病院のクリスマス会では「きよしこの夜」とクリスマスメドレーを合唱する機会をいただきました。

これからも入院された患者さんはもちろん、付き添われているご家族の方々、関わる人たちの生活が少しでもより良いものになるお手伝いが出来るよう、活動していきたいと思っています。



院内クリスマス会

私のオススメ BEST5

臨床検査科

小林 純

武田先生からご指名いただいたものの、私自身これと言った趣味はなく…何を書いたら良いか悩みましたが、今回は私のオススメコーヒー豆BEST5を紹介したいと思います。コーヒーに特段詳しい訳では無く、さらに言えば味音痴なのですが、生意気にもスペシャルティコーヒーと呼ばれるコーヒー豆を買って嗜んでいます。私は浅煎りも飲みますが、甘みやコクが強く感じられる中深煎りから深煎りの豆を好んでよく飲んでいきます。コーヒーは人によって好みや感じ方が違うと思いますし、同じ国でも産地や農園によって特徴が異なると思いますが、私の独断と偏見による論評にお付き合いいただければと思います。



1位

ケニア

いつも飲んでいる深煎りでは、濃厚な味わいでしっかりしたコクの中にも上質な酸味が感じられ、長く続く複雑な余韻を楽しめます。飲みごたえたっぷり、これぞキングオブコーヒー！至高の1杯です。



2位

グアテマラ

苦味と酸味のバランスが秀逸で、甘みも感じられますが、スッキリした後味が特徴です。クセがなく飲みやすいため、毎日飲んでも飽きがきません。初めての1杯にもオススメです。



3位

ペルー

適度な酸味、まろやかな苦味とコクが特徴で、後味にしっかりと甘みが広がります。ペルー独特の余韻を楽しみながらゆっくりゆったりしたいときにオススメの1杯です。



4位

エチオピア

独特のフルーティーな香りと酸味が特徴でしっかりした旨味も感じられます。気分を変えたいときに飲みたくなる、そんな1杯です。



5位

自分で勝手に気まぐれブレンド

基本的にはシングルオリジンを飲んでいますが、1杯分に足りない少しずつ残った豆をブレンドしてみると、いつもと違った味わいに出会えることもあり、これまたコーヒーの面白さを感じる瞬間でもあります。



色々とお話しましたが、大事なことは理屈ではなく自分に合った美味しいと感じるコーヒー豆に出会うことだと思います。みなさんもぜひお気に入りの1杯で一息ついてみてはいかがでしょうか。次回は、薬剤部の期待の若手、宮下竜雅さん、よろしくお願いします。

保育士だより ハロウィンパーティー 🎃

ヨーロッパで始まったこのお祭りは、秋の収穫のお祝いと悪霊を追い払う意味の行事のこと。日本でもすっかりお馴染みとなってきました。

こども病院でも初めて「ハロウィンパーティー」と題して、エントランスホールでイベントを行いました。各病棟でウォークラリーにチャレンジしてから答えを記したカードを手に、それぞれが仮装して集合!! その景色はまさに賑やかなハロウィンパーティー。みんなで答え合わせをして盛り上がり「トリック・オア・トリート」と言ってもらったキャンディータオル🍷のプレゼントに笑顔が溢れました。

ステージでは「大森先生とゆかいな仲間たち」「ちるくま音楽隊」の演奏に癒され、そして一緒に楽器をならしたり踊ったりして心弾む楽しいひと時を過ごしました🎵院内学級の生徒さんの作品も会場を盛り上げてくれました。



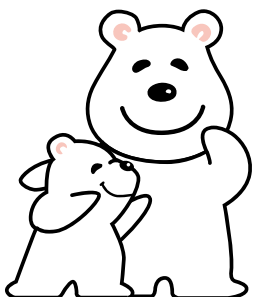
各病棟でもハロウィンを楽しむ趣向を凝らした取り組みが行われ、新生児病棟は写真入りハロウィンカード、1・4病棟は帽子を作って素敵な仮装をコーディネート、2・5病棟は写真パネルで記念撮影などなど…みんなハッピーハロウィンを楽しみました。(太田 真理)



栄養科通信 ピザバイキング

月1回のバイキングはおやつに行うことが多いのですが、今回はお昼にピザを選んでもらいました。なかなか献立に取り入れることが難しいため年に1回のお楽しみです。

お昼は他に「パンバイキング」があります。以前は「おやき」「中華まん」のバイキングも行いました。皆さんは何が選べたらいいと思いますか？
(松浦桂子)



こころにお届けする絵本

こころの支援科 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 矢口 暁子



虫ガール ほんとうにあったおはなし
作：マーガレット・マクナマラ ソフィア・スペンサー
絵：ケラスコエット
訳：福本 友美子
出版社：岩崎書店



今回お届けするのは『虫ガール ほんとうにあったおはなし』。

この絵本の主人公ソフィアは、虫が好き。小さい頃に訪れた植物園で、肩にチョウチョがとまった時から…。でも小学校に入った途端、虫好きは変だと言われるようになりソフィアは「虫をおやすみ」してしまいます。お母さんの行動がきっかけでたくさんの昆虫学者から励ましのメッセージが届くようになり、私は虫が好きでいい、ひとりぼっちじゃないと気が付き、ぐんぐんと世界を広げていきます。

夢中になれるなにかに出会えるのはとても素晴らしいこと。もしあなたの“好き”を認めてくれる人が近くにいなくても、海の向こうの国にはいるかもしれません。いいね！をくれるのは、年齢も性別も話す言葉も違う誰かかもしれません。

自分が好きだと思うものを諦めずその気持ちを大切にしてほしい、そんなメッセージをくれる絵本です。

病院ボランティアさんのご紹介

ボランティアコーディネーター 百瀬 絢子

今回は、長野県立こども病院のはぐくみボランティアをご紹介します。

はぐくみボランティアは、病院職員とボランティアスタッフの要望をマッチングして2022年10月より開始されたボランティアです。

活動内容は、外来の待ち時間に患者さんが読んだ絵本や座席の消毒をするボランティアで、患者さんが外来の待ち時間を安心して過ごせるように、はぐくみボランティアスタッフが毎日交代で日に2回の活動を行っています。

はぐくみボランティアも病院職員や患者さんから感謝や励ましの言葉をいただきながら、2023年10月で活動1周年を無事に迎えることができました。もっとメンバーを増やして活動を続けていければと思っていますので、興味のある方はお気軽に長野県立こども病院ボランティアコーディネーターまでご連絡ください。個人の方や学生さんも大歓迎です。



●長野県立こども病院 ボランティアコーディネーター
電 話：0263-73-6700（代表）
受付時間：平日9時～16時

サポーターズボード(寄附者ご芳名)

令和5年10・11月にご寄附いただきました方々へ感謝の意を込めまして、ご芳名を掲載させていただきます。(希望されない方を除く)

あたたかいご支援、ありがとうございました。

- 日穀製粉株式会社 代表取締役社長 小山紀雄 様
- 株式会社パワーネット・フィールド 様
- 株式会社マルモ機材 様
- 安曇ライオンズクラブ 様
- 石川維新の会 様
- WEST LOVERS(ウエストラバーズ) 様
- 塩川 ひろ子 様
- 川井 頼能 様
- 西澤 郁弥 様

- 小林 恵子 様
- 福島 育・守・光 様
- 茂木 国豊 様
- 和田 亮仁 様
- 平林 正貴 様
- 豊川 和顯 様
- 戸谷 雅史 様
- 糸島 薫 様
- 海沼 茂 様

(順不同)

ありがとう
ございました。



小さな星の会のお知らせ

当院の患者さんで、お亡くなりになられたお子さんのご家族の会「小さな星の会」を年4回のペースで開催しています。

悲しい気持ちはあるけれど人には話づらい…。
向き合いたい気持ちと向き合いたくない気持ちがある…。
先生や看護師さんと久しぶりに話したい…。

そのようなご家族とひとときを分かち合う場をつくりたい、という思いで小さな星の会を開催しています。参加して下さるご家族のおかげで、温かな会になっています。

詳細やお申込み方法は長野県立こども病院のホームページからご確認をお願いします。

〈小さな星の会〉

日時：1月、4月、7月、10月の

第2火曜日 14時～15時

場所：こども病院

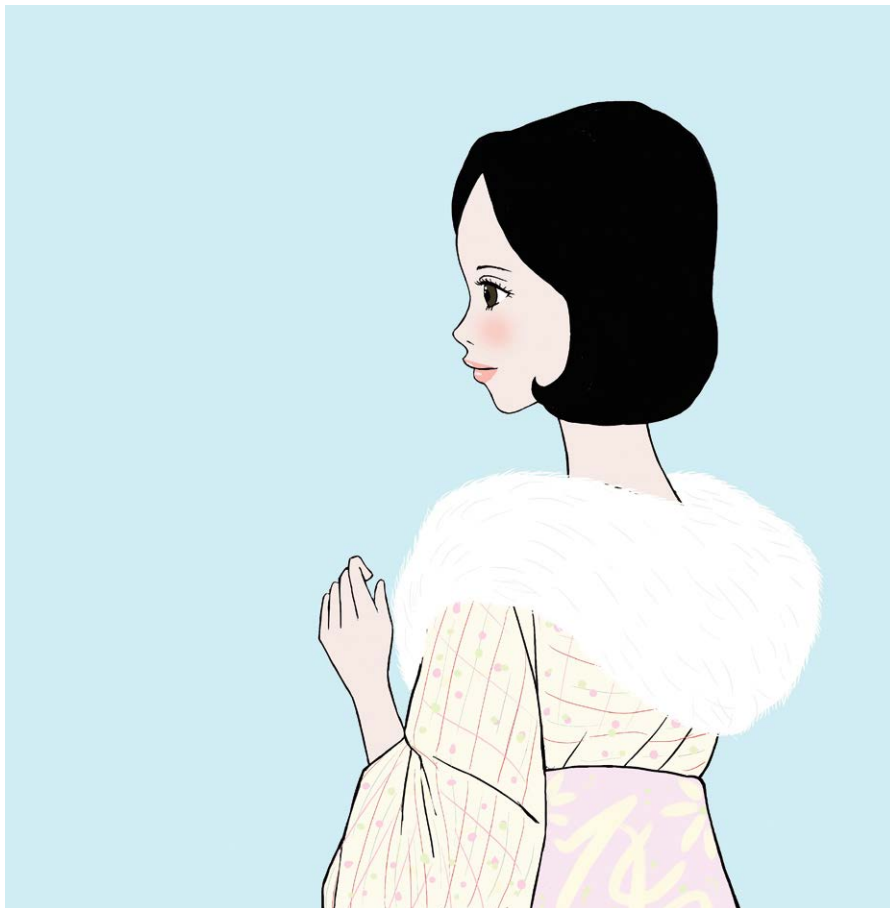
(詳細はHPをご確認ください)

●お問い合わせ先：長野県立こども病院
小さな星の会担当 0263-73-6700(代)

キョウノイチマイ

～イラスト & 解説 by 倉田 敬～

相変わらず着物のことは良く分かっていませんが、新年ということで着物の女性を描いてみました。髪形含めシンプルにしたせいもあって、ジブリに出てきそうな感じだなと思ったので、目元、口元などちょっとジブリに寄せられているかもしれません。わかりにくいですが、「辰」も忍ばせています。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

麻酔科の大畑先生撮影による四季折々のこども病院の写真の中から毎号表紙の写真を選んでいきます。小さいですが編集長にとっては大事なスペースです。私は冬の長野県の風景が大好きで、朝焼けの常念岳をみるために早起きすることもあります(冬季早朝限定、朝焼けの北アルプスをバックにした松本城はオススメです。槍ヶ岳も見えます)。先日帰省した姉が夕映えの仙丈ヶ岳(南アルプス)の美しさを初めて知ったと感動していました。私は小学生のころからその美しさに魅了されていたので、「えっ?見たことなかったの?」と驚きました。自然児の私と違い、姉は本の中の空想の世界のことは誰よりも知っています。そんな子どもの好きや個性を尊重できる大人でありたいと思います。本年もよろしくお願いします。

倉田

長野県立こども病院 外来医師担当表

2024年1月1日現在

	外来名	月曜日		火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
		午前	午後				
南棟外来	整形外科	酒井 典子	酒井 典子		松原 光宏 酒井 典子 松原 光宏 酒井 典子	松原 光宏 酒井 典子(リハ装具)	松原 光宏 酒井 典子(リハ装具)
	小児外科			高橋 淳(第2) 大場 悠己(第4) 好沢 克 笠井 智子		好沢 克	
				高見澤 滋 ヘルニア外来	高見澤 滋	好沢 克	笠井 智子
	眼 科	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練
	総合小児科	南 希成 村井 健美	樋口 司		村井 健美	樋口 司	
		頭痛外来(第2・4) 南 希成 (PM4時～5時予防接種相談)*2	樋口 司 長崎 啓祐(内分泌・代謝)	樋口 司 南 希成(ワクチン接種) 村井 健美(ワクチン接種)	南 希成 (PM4時～5時予防接種相談)*2		
	アレルギー科	小池 由美					伊藤 靖典 徳永 舞
		伊藤 靖典 小池 由美 徳永 舞	伊藤 靖典 小池 由美(第3・5)				小池 由美
	血液腫瘍科 膠原病・免疫不全外来				丸山 悠太(第2・4) 坂下 一夫(第1)(移行医療支援)		
	循環器小児科 (内科・外科)	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	瀧間 浄宏(内科) 武井 黄太(内科)	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	瀧間 浄宏(内科) 赤澤 陽平(内科) 益谷 悠馬(内科)	赤澤 陽平(内科)	
	循環器小児科 成人先天心外来		赤澤 陽平(内科) 米原 恒介(内科)		武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 益谷 悠馬(内科)	武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 益谷 悠馬(内科)	
	循環器小児科 移行医療支援		元木 博彦(第2・4)				瀧間 浄宏(第2・3)
	放射線科			小岩井慶一郎			
	リハビリテーション科						リハビリ装具*3
	こころの診療科*1						
北棟外来	脳神経外科	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐	重田 裕明	重田 裕明	重田 裕明
	泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり 井川 靖彦	市野みどり 井川 靖彦	市野みどり	市野みどり 齊藤 徹一		
	神経小児科	稲葉 雄二 本林 光雄	稲葉 雄二 那須野 将	稲葉 雄二 白井 真規	福山 哲広(第2・4) 本林 光雄 竹内史穂子 白井 真規	大多尾早紀 本林 光雄	
		稲葉 雄二 本林 光雄 白井 真規	本林 光雄 那須野 将	竹内史穂子 那須野 将	坂口 友理 竹内史穂子 牧田みずほ(第4)	稲葉 雄二 本林 光雄	
	小児外科					高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来)	高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来)
	新生児科	小田 新 野口 昌彦 土屋 彩 矢口貴一郎	廣間 武彦 廣間 武彦	小川 亮 小川 亮		亀井 良哉 亀井 良哉	
	形成外科			野口 昌彦 矢口貴一郎		野口 昌彦	野口 昌彦 土屋 彩 矢口貴一郎 永井 史緒
	総合小児科		竹内 浩一(内分泌・代謝) 大森 教雄(第3)(腎臓) 竹内 浩一(内分泌・代謝) 大森 教雄(第3)(腎臓)	中山 佳子(第3)(消化器) 水城 弓絵(第2)(内分泌)	竹内 浩一(内分泌・代謝) 長崎 啓祐(内分泌・代謝)	竹内 浩一(内分泌・代謝)	
	麻酔科	大畑 淳					
	皮膚科						
	遺伝科	武田 良淳(第3・5) 古庄 知己(第4)	武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳 高野 亨子(第3)	武田 良淳	武田 良淳
	耳鼻咽喉科	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子
	循環器小児科 胎児心臓外来		米原 恒介 武井 黄太		赤澤 陽平	瀧間 浄宏	
	産 科 成育女性外来*4	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子
		吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子 いちご外来	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	
	血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫 倉田 敬	坂下 一夫	坂下 一夫 倉田 敬	坂下 一夫	倉田 敬	倉田 敬
	リハビリテーション科	五味 優子 三澤 由佳	三澤 由佳	三澤 由佳	中嶋 英子・村田マサ子	五味 優子 三澤 由佳	
	こころの診療科*1						

*1 こころの診療科 篠山医師は、再診のみです。外来の初診受付しておりません。*2 長野県予防接種センター相談 *3 リハビリ装具は整形外科酒井医師の診療となります。*4 成育女性外来は寺尾医師の診療となります。★診療時間：午前9時～午後4時 ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

文字が小さく見にくい方は
こちらから閲覧できます



予約専用電話 ★受診には、原則として
予約が必要です。
0263-73-5300